科目名	担当教員名	授業形態	単位数	資格	大学 DP	学科 DP	学習成果
ジェンダー論	松田　いりあ	講義	2		2	3	3

授業概要 授業目的	この授業では、ジェンダーに関わる私たちの一般的な認識が、一定の歴史的社会的条件下で定着したものであること、またその認識が世代を越えて伝えられる仕組みを、国内外の事例とともに解説する。 授業は基本的に講義形式で行う。随時授業内課題を実施し、提出された課題をもとに受講生とともに考える機会を設ける。
到達目標	この授業では、受講生が現在のジェンダーをめぐる課題を理解するだけでなく、社会生活全般においてジェンダーに関心を持つことが目標になる。

回	学習内容
1	はじめに：この授業の進め方と評価方法の説明
2	ジェンダーとは
3	セクシュアリティとは
4	ジェンダーの社会化
5	ジェンダーと子育て
6	ジェンダーと教育
7	パートナーシップとジェンダー、セクシュアリティ
8	労働市場とジェンダー
9	貧困とジェンダー
10	アンペイド・ワーク
11	メディアとジェンダー
12	サブカルチャーとジェンダー
13	身体とジェンダー
14	空間とジェンダー
15	まとめ：この授業の総括

予習内容 復習内容	予習：前回の授業内容の確認。 復習：授業資料や参考文献を参照して、学習内容の理解を深める。
教科書	テキストは使用しない。参考文献は講義中に伝える。
成績評価	授業内課題 50%、レポート 50%。 全 15 回のうち 10 回以上の出席者が成績評価の対象となる。
実務経験	
その他 特記事項	